

2023年3月31日  
商工中金

## 環境負荷の少ないLNG燃料ケミカルタンカーを開発する POLARIS LINE CO., INC. 様（福岡造船グループ）を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（福岡支店）は、POLARIS LINE CO., INC. 様（パナ現地法人、代表者：田中 敬二様）に対し、LNG燃料ケミカルタンカーの建造に必要な資金を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、船舶製造・貸渡業を行う福岡造船グループの1社です。同社グループはケミカルタンカーを中心に多様な船舶をグローバルに供給。環境経営にも積極的に取り組んでおり、従来主たる燃料であった重油よりもCO2やSOx排出量の削減が期待できるLNGを主燃料とするケミカルタンカーを開発しました。

今回、同社グループは、船体の建造能力の拡大や環境対応型船舶の普及を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【福岡造船株式会社様の概要】

所在地	福岡県福岡市中央区港3-3-14
代表者	田中 嘉一様
業種	船舶製造業
資本金	9,600万円
従業員数	162名（2022年9月時点）
設立	1947年11月

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

## 社会全体のサステナビリティ向上 (環境・社会・経済)



- お客さまの経営支援
- 持続可能な社会実現への貢献

- サステナビリティ経営の強化・企業価値向上
- ステークホルダー（仕入/販売先・従業員・地域関係者等）との共感・関係強化